

地域教育懇談会だより

郡山市教育委員会
平成30年12月18日(火)

小山田地区「地域教育懇談会」を開催しました



小野義明 教育長

小山田地区「地域教育懇談会」を11月20日(火)午後7時から小山田地域公民館で開催しました。小山田小学校、郡山第六中学校、大槻中学校、小山田幼稚園、小金林保育園、郡山ザベリオ学園幼稚園の保護者や教職員、地域の皆様など、約60名の参加がありました。

前半は小野義明教育長をはじめ、教育委員会事務局職員が、本市の教育施策について説明しました。後半は6つのグループに分かれて共通テーマについて具体的な協議を行いました。

【共通テーマ】

各課、各センターにおける教育施策の説明

学校教育推進課

小中一貫教育の推進、授業の改善と確かな学力の育成、特色ある教育活動の推進、地域との連携等

学校管理課

体力向上推進構想による取組、学校給食・食育の充実、学校体育指導者研修の実施、学校体育大会の充実等

教育研修センター

専門性の向上と今日的な課題への対応に向けた教員研修の推進、ICT教育の充実、情報モラル教育の充実等

総合教育支援センター

学校不適応児童生徒への個別対応、スクールカウンセラーの配置、インクルーシブ教育システムの充実等

グループ協議

「未来を拓く子どもを育む家庭の力・地域の力」

後半のグループ協議では、参加者全員が6グループに分かれ、共通テーマ「未来を拓く子どもを育む家庭の力・地域の力」のもと、様々な立場、視点から活発な意見交換がなされました。

各グループでの主な協議内容

～参考となる取組や意見が数多く出されました～

Aグループ 子どもとの接し方、見守り隊の今後等について

Bグループ 通学路における安全確保、地域の団体による見守り等について

Cグループ スマートフォンの使い方、学校周辺の夜間の安全等について

Dグループ あいさつなどの家庭での指導のあり方、スマートフォンの使い方等について

Eグループ スマートフォンの使い方、地域が子どもと関わる行事、子どもの規範意識等について

Fグループ 子どもたちの登下校時の安全確保等について

参考となる取組や意見がたくさん出されました

<交通安全について>

- ・道路が狭く、細い道が多いためカラーゾーンが設置されているが、通行の仕方について大人が手本を示さなければいけない。
- ・学校周辺に外灯がない。グラウンドの照明がついている時間帯はいいが、それ以外の時間の対応を考えてほしい。
- ・下校時間を知らせて、保護者の方に迎えに来てもらうことも必要ではないか。

<携帯・スマートフォンについて>

- ・スマートフォンについては、必要な機能だけに限るような方策が必要であり、使い方を教えていかなければいけない。
- ・子どもにスマートフォンを預けてしまうことが問題である。使い方について親がしっかりと考えを持たなければいけない。

<健全育成について>

- ・大人同士のつながりを持つことが必要である。それがないと子どもに声をかけることは難しい。
- ・親がしっかりと子どもの姿を見ることが大切である。テストの結果も良いところと悪いところの両方を伝えること、親子と一緒に過ごす時間をしっかりと確保することが必要である。
- ・老人クラブ、育成会などが協力・分担して子どもたちを見守っていこうという話し合いをしている。
- ・通学時も含めて、地域内の各団体が協力して子どもを見ていく意識が必要である。その意味でも、地域行事への子どもの参加を促したい。

みなさんのお話から、「地域・家庭・学校が連携・協力して、子どもを育てていく」ことの大切さを改めて認識しました。それぞれの立場で、できることを具体的に考えていくことが必要だと感じました。



グループ協議の様子